

病院理念

- 一．私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一．私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一．私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



フラワーパーク江南（江南市）

コラム

1. 新たな地域医療連携体制の 取り組みについて

2. ISO15189認定施設になりました！臨床検査室

トピックス

新型コロナウイルスワクチン接種について
摂食・嚥下障害看護認定看護師が誕生しました！
2021年4月、介護報酬が改定されました
人にやさしい「放射線治療」ってなに？

お知らせ

新型コロナウイルスに関するお願い
2021年度がんサロン「にじの会」のご案内
診療日カレンダー

新たな地域医療連携体制 の取り組みについて

～地域包括ケア病棟閉鎖と今後の展開～

副院長兼地域連携部長 高田 康信



タイトルのなかに「閉鎖」という文字があり、そこだけ見ると、つい機能が縮小されてしまうと思われがちですが、決してそうではありません。むしろ、今回の再編成によって、よりいっそう地域に必要な機能と役割を明確化しようとするのがねらいです。果たして、その真意とは・・・今回は当院が実施を予定している病棟再編成についてご紹介いたします。

病床にはそれぞれ「機能と役割」がある

病院の病床には、機能と役割が与えられています。例えば、手術後などの重症患者さんが入る病棟は一般に「ICU」と呼ばれており、様々な命を救う機器が設置されています。その他にも、手術後などに集中的なリハビリテーションを行なう「回復期リハビリテーション病棟」や、長期に渡る療養が必要な患者が入院する「療養病棟」など様々な病床があります。

今回のテーマである「地域包括ケア病棟」は、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さんに対して在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟を指します。すなわち、救急車で運ばれた患者さんの容態が安定したり、救急車で運ぶほどではないが、一定期間の入院が必要な患者さんが入院するような病棟です。そんな病棟が無くなってよいのか？と疑問視される方も多いと思われそうですが、こうした病棟の役割を、地域の医療機関と役割分担して、より多くの患者さんを救う体制を構築しようとするのがキモとなります。

地域の医療機関と協力して、「点」から「面」の医療体制を構築する

今回の主目的は、江南厚生病院の役割を明確化することにあります。江南厚生病院の役割とは、救急車や開業医さんからの紹介患者といった急性期治療を必要とする患者さんを積極的に受け入れることであり、病状が安定したら、他の医療機関と協力して生活を支えていくという体制構築こそが、医療資源を有効に活用する手段と言われていています。医療を一つの病院だけで対応するのではなく、地域全体で支え合う、すなわち点の対応を面の対応に変えなくてはこの先の高齢社会は立ち行かなくなってしまいます。そのためには、役割分担として、当院の地域包括ケア病棟を廃止し、そこにあった医療資源を、当院の果たすべき役割である救急や紹介患者対応に回すことが必要となります。

私たち江南厚生病院が目指すものは、地域の方々々が地域のなかでより健康に、そして安心して暮らし続けていくことへの体制整備です。そのための第一歩として変わろうとする江南厚生病院へのご理解のほどをお願いいたします。



ひとつの病院「点」の医療から、
みんなで支える「面」の医療へ



ISO15189認定施設になりました！

臨床検査室



臨床検査室長 舟橋 恵二

ISOとは何だろう？

国際標準化機構（International Organization for Standardization ; ISO）は、製品やサービスの質を保証するための機関として、1947年ジュネーブに設立されました。略号をIOSではなく“ISO”としているのは“アイソ”と発音し易いことや、前身機関ISAから連想しやすいことなどが理由とされています。このISOが保証する規格は約2万分野にものぼり、工業製品・技術、農作物、食品、医療など様々な分野を網羅しています。身近なものでは、緑色の非常口のマーク、クレジットカードのサイズなどもISO規格によって世界的に統一されています。

わが国では日本適合性認定協会（JAB）により厳正なる審査が行われ、ISO規格に適合しているかどうかの判断が下されます。

なぜISO15189認定を目指したのか？

ISO15189は臨床検査の国際規格であり、臨床検査データ、検査室、人員、機器の管理が認定の対象となります。当院臨床検査室は1年半以上の準備期間を経て、2020年10月にISO15189規格の審査を受けました。指摘されたことを一つ一つ丁寧に是正を行い、2021年2月に無事認定されるに至りました。

しかし認定取得は短期的な目標であり、その本質は今後定期的に行われる適合性評価にあります。国際標準化された臨床検査データを継続して提供していくことが大切であると考えています。

今回のISO15189認定を励みにして、当院を利用される患者さんや地域住民皆様の信頼に足る臨床検査室を目指して努力してまいります。



地域のみなさまへの
お願い

新型コロナウイルスワクチン接種について

接種の可否を確認される方は

定期受診の際に主治医へ確認して

いただきますようお願いいたします。

※電話連絡では確認できませんので予めご了承ください。



摂食・嚥下障害看護認定看護師が誕生しました！

摂食・嚥下とは食物を認識して口に取り込むことに始まり、胃に到達するまでの一連の過程を指します。口に入れた食べ物を自然に“ごっくん”と食道へと送り込むことを「嚥下」反射といい、この嚥下反射がうまくできなくなることで、唾液や食物が気管に入ってしまうことを「誤嚥」といいます。このとき、唾液や食物とともに細菌が肺に入り込んでしまうことによって引き起こされる肺炎を「誤嚥性肺炎」といいます。加齢や病気などで、飲み込む力が低下すると、“誤嚥”を日常的に繰り返してしまうといわれています。



70歳以上の肺炎患者の約70%は「誤嚥性肺炎」であり、日本人の死因の第7位になっています。“命は食にあり”ということわざがあるように、生きていく中で食べることは欠かせないことです。摂食・嚥下障害看護認定看護師は医師、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師など他の専門職と協働し、誤嚥性肺炎、低栄養、脱水などを予防し安全に食事を食べることへの支援を役割としています。患者さんや家族の“食べたい”という思いを尊重して一人でも多くの患者さんが安全に食べられるように今後活動していきたいと思えます。

2021年4月、介護報酬が改定されました

江南中部地域包括支援センター

みなさん介護報酬って知っていますか？

介護保険のサービスを利用した場合に、サービスの事業者に対して支払われる報酬のことです。

介護報酬はサービスの種類や介護度、地域等により設定されており、3年おきに改定されています。

今回の改定の 5つのポイント

- ・ 感染症や災害への対応
- ・ 住み慣れた地域でサービスを受けられるようにする取組み
- ・ 介護人材の確保
- ・ 自立支援・重度化防止
- ・ 制度の安定化



これは、高齢者の人口がピークを迎え、支え手が減少する2040年を見据えたもので、利用者のデータを蓄積し活用していくなど、将来に備えた介護サービスを推進することが狙いです。

2040年まであと19年。誰もが高齢者になります。高齢になっても、住み慣れた地域で生活を続けていくためには、「将来に備え、自ら健康管理をする」など、一人一人の意識も変える必要があるのかもしれない。

人にやさしい「放射線治療」ってなに？

～ リニアックとトモセラピーのおはなし～

診療放射線室長 寺澤 実



当院は2018年に「愛知県がん診療拠点病院」に指定されました。指定病院は、がん医療の内容、医療従事者、診療実績、設備、情報提供、相談体制など一定の条件を満たしており、適切ながん医療が受けられる体制が整備されています。

尾張北部医療圏北部地域におけるがん診療拠点病院として、がん医療における内容の充実、治療成績の向上などを図っています。

当院の放射線治療

放射線治療は、手術と同じく、がんと周辺のみを治療する局所的な治療です。がん細胞に外から高いエネルギーのX線をあてて、増殖を抑えたり、死滅させたりします。疾病によっては、手術と遜色ない効果があります。また、手術と違い**身体の機能を残す**ことができます。

当院では、リニアックとトモセラピーの2つの装置で放射線治療を行っています。

リニアック

リニアックは、広範囲を短時間に照射することが可能な装置です。動きのある場所や、痛みの強い方が対象になります。適応疾患は、基本的にすべてのがんが対象になります。特に乳がんの術後温存乳房の再発予防照射や、食道がん、白血病の治療における造血幹細胞移植の前処置として全身照射などに利用されます。

トモセラピー

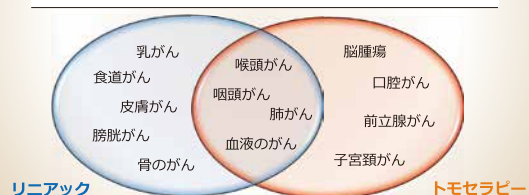
トモセラピーは、高度なコンピュータを利用してがんの部分のみに放射線を当てる「強度変調放射線治療 (IMRT)」と呼ばれる高精度な放射線治療の専用装置です。がんの部分のみに放射線を集中させ、**正常組織に当たる放射線の量も減らすことができ、副作用を抑えます**。適応疾患は、リニアックと同様に基本的にすべてのがんが対象になります。特に頭頸部がん、子宮頸がん、直腸がん、前立腺がんが主な対象になります。

近年の放射線治療は、治療成績が向上し「生活の質 (QOL)」を保ちながら、がん治療を行う有効な方法です。当院は、放射線治療を必要とするがん患者さんの治療が完結できる体制が整備されています。

放射線治療の適応につきましては、主治医または、かかりつけ医にご相談ください。

リニアックとトモセラピーの特徴

リニアック		トモセラピー
○	がんだけに当てやすい	◎
○	副作用を減らす	◎
◎	治療時間の長さ	○
◎	呼吸・ぜん動などの動きの対応	○



※ 使用する装置は、病気の状態などにより選択します。

みなさんの健康と安心・安全のために

江南厚生病院の院内感染防止に向けた取り組み

発熱患者さんへの対応

正面玄関にて発熱等の症状確認を行っています。症状のある方は、一般診療エリアとは別の場所で診察を行っています。



面会謝絶の実施

医師・看護師が認める場合（面会証・付添許可証がある方）を除き、面会できません。検温と手指消毒を実施しています。



スタッフの健康保持

検温を徹底し、体調不良時は自宅待機としています。常時マスク着用、手指消毒を徹底しています。



環境衛生の徹底

手指消毒液の設置・飛沫防止対策の実施
椅子やカウンター等の消毒・24時間換気
トイレでのエアータオルの中止 など



新型コロナウイルス感染を避けるために必要な受診を控えてしまうと、ご自身の病状が悪化してしまう可能性があります。当院では、適切な感染防止対策を実施していますので、自己判断で受診を中止することなく、安心して受診していただきますようお願いいたします。

仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

2021年度 がんサロン「にじの会」のご案内

参加費
無料

日程とプチ講座のテーマ

※プチ講座は期間限定でオンライン配信します。詳しくは江南厚生病院ホームページへ

- 対象 **がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族**
- 時間 **偶数月(木) 14時～15時
奇数月(火) 10時～11時**
- 内容 **プチ講座15分
質疑応答15分
参加者同士の交流30分**
- 場所 **外来2階 多目的室
※外来用エレベーター前**
- 参加方法 **要予約 (定員10名)**

日時	プチ講座：テーマ(仮)	担当	放映期間
開催終了	がん患者が知っておくと良い 感染対策	感染管理認定看護師	5/19～7/6
6/3(木) 7/6(火)	診断期からの緩和ケア	がん性疼痛看護 認定看護師	7/7～9/7
8/5(木) 9/7(火)	治療に伴う認知力低下 ～ケモブレイン	がん化学療法看護 認定看護師、当事者	9/8～11/2
10/7(木) 11/2(火)	大切な人への病気の伝え方	がん専門相談員、 当事者	11/3～1/4
12/2(木) 1/4(火)	口腔ケアの大切さ	歯科衛生士	1/5～3/1
2/3(木) 3/1(火)	治療にかかる費用や制度	ソーシャルワーカー	3/2～3/31

※新型コロナウイルスの関係で中止になる可能性があります。

<問い合わせ先> 患者相談支援センター：がん相談 TEL(0587)51-3346 FAX(0587)51-3317
E-メール:gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

2021年(令和3年) 診療日カレンダー

■ 休診日(土曜・日曜は休診です)

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

発行日/令和3年7月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300